

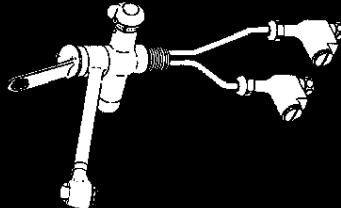
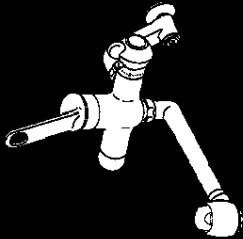
f SERIES

サーモスタット混合栓

TOTO

ご愛用のしおり

■このたびは、TOTO f^{SERIES} サーモスタット混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。



もくじ

特長・各部のなまえ	1・2
つかいかた	3・4
使用上の注意	5・6
温度調節のしかた	7
ストレーナの掃除	8
手入れのしかた	9
故障したときは	10

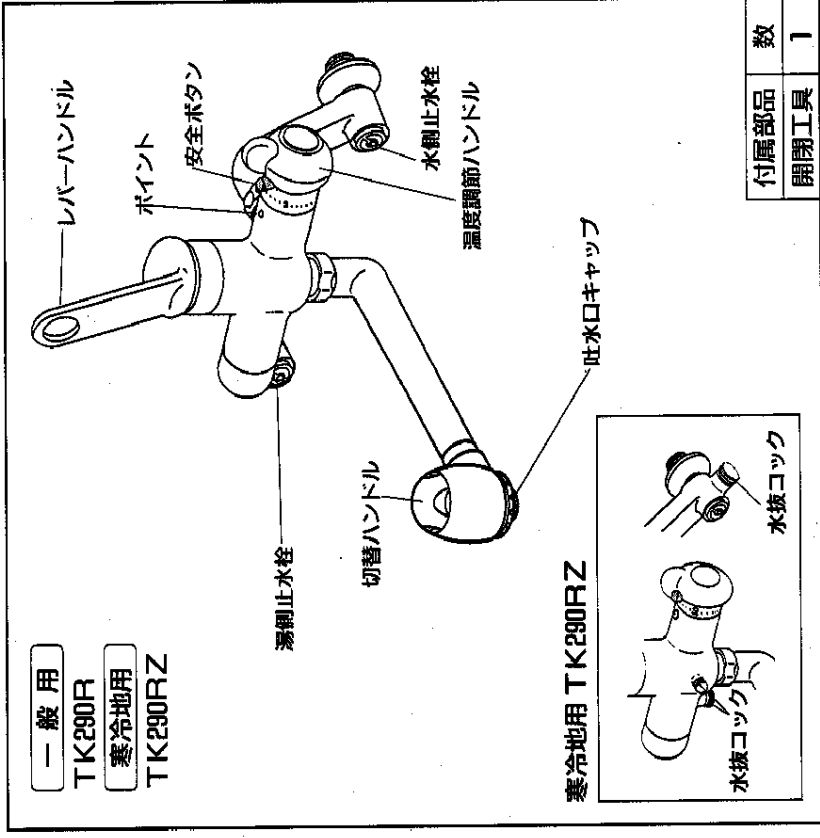
特長・各部のなまえ

1. 湯温を自動調節

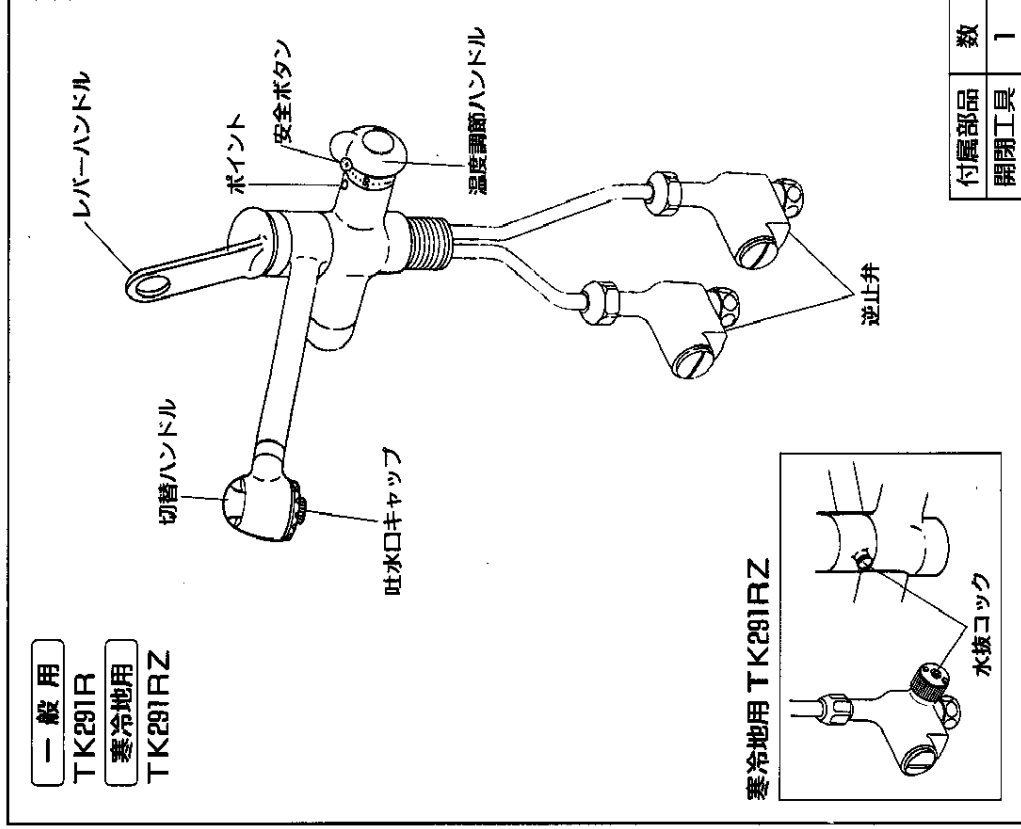
混合水の温度を一定に自動調節しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても、吐水温度はほとんど変化しません。

2. 操作が簡単です。

- レバーハンドルのワンタッチ操作で、吐水・止水、吐水量の調節までできます。
- 切替ハンドルにより、整流吐水とソフト吐水に切替えることができます。

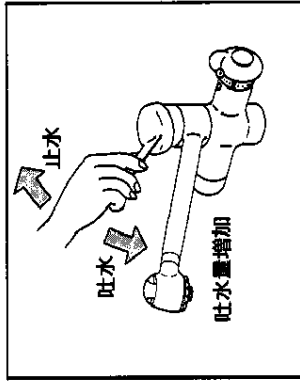


- 吐水口を回転させて、お好みの位置で使用できます。また水飲みなどにも便利です。



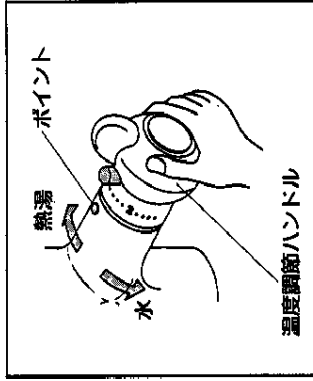
つかいかた

1. 吐水と止水



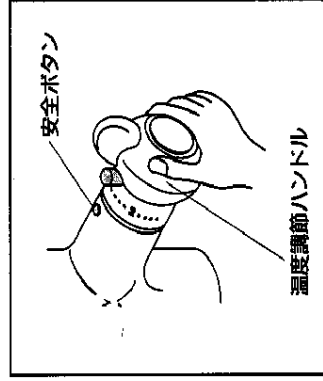
どの位置でも、レバーハンドルを下
げると吐水し、上げると止水します。
吐水量はレバーハンドルを下げるに
したがって多くなります。

2. 温度調節



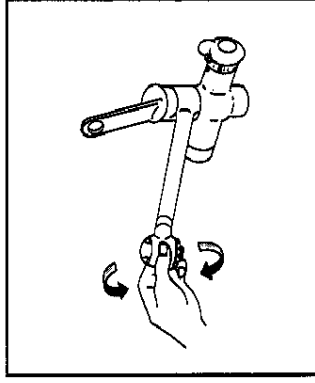
温度調節ハンドルを回してお好みの
湯温をポイントに合わせてください。
温度表示の数字は湯温を示す目安と
してください。

3. 安全ボタン



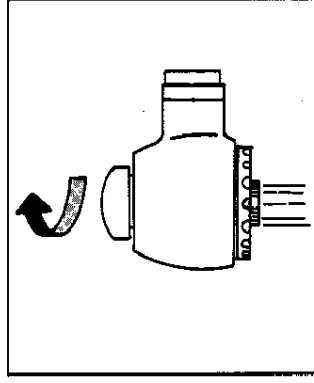
誤って熱湯を出さないように安全ボ
タンがついています。温度調節ハン
ドルは目盛 40° 付近でロックされま
すのでこれより高温で吐水したいと
きは、安全ボタンを押し回してく
ださい。なお、安全ボタンを押して
使用した後は、次回吐水時の安全の
ためハンドルを必ず目盛 40° 以下に
戻しておいてください。

4. 吐水口の回転

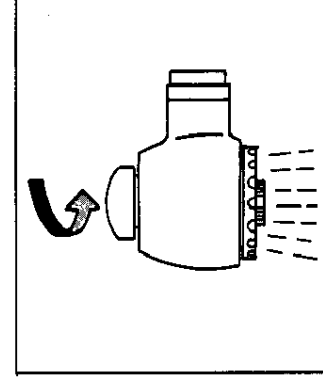


吐水口は 360° 回転させてご使用でき
ます。
上向き吐水でご使用のときは下向き
吐水で湯温が安定してからご使用く
ださい。

5. 吐水の切替



切替ハンドルを左に回すと整流吐水
します。

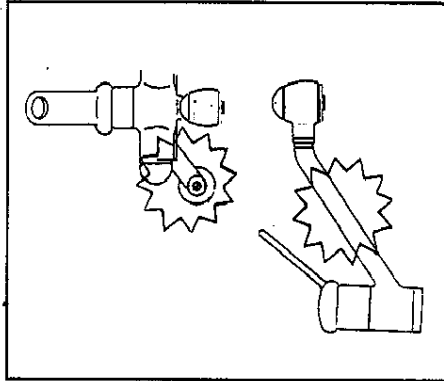


切替ハンドルを右に回すとソフト吐
水します。

使用上の注意

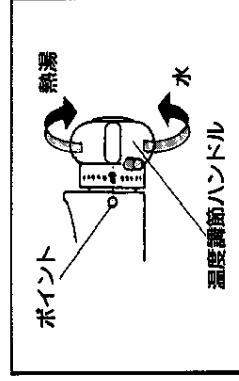
熱湯を使用しますので、火傷などの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意



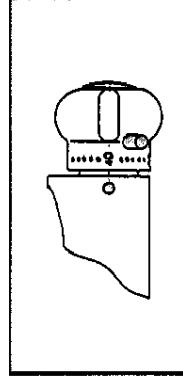
器具の左側は給湯側のため、高温になっていきます。器具の表面に直接肌をふれないようにご注意ください。また、高温で吐水させた後は、しばらく水を流し、高温の残水を流しておいてください。

温度調節ハンドルはゆっくり回す



温度調節ハンドルは、ゆっくり回しててください。急に回しますと温度があがり過ぎる場合があります。

温度調節ハンドルは“40”以下にする

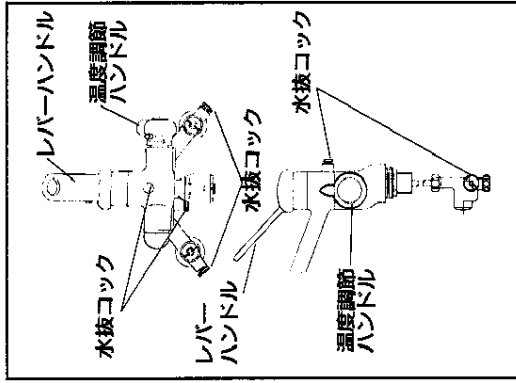


熱湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻してください。(これは次に使うとき、いきなり熱湯を浴びないためです。)

凍結すると少しの間吐水しませんが(寒冷地用の場合)

凍結した場合、水抜きを行っていてもストレーナの表面に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間吐水しない場合がありますのでそのときは、ぬるま湯であたためてください。凍結のおそれがある場合は水抜き器具と合わせて次の順番に操作し器具内の水抜きをしてください。

1. レバーハンドルを中央位置で下げる。
2. 水抜きコックを開く。
3. 温度調節ハンドルをHに合わせ、吐水口から水が出なくなってからさらにC側にいっぱい回す。



給湯機が瞬間型の場合

1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますので、レバーハンドルはできるだけ全開でご使用ください。
2. 給水圧力が高く吐水量が多すぎる場合は、レバーハンドルで調節を行ってください。(レバーハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。)
3. 混合水栓から吐水する温度より10°C以上高い温水を供給するよう、給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は給湯機が着火しにくくなる場合があります。
 - その場合は給湯機の設定温度（能力切替式の場合は能力）を少し下げお試しください。
 - 給水圧力が低いとき。
 - 水温が高いとき。

温度調節のしかた

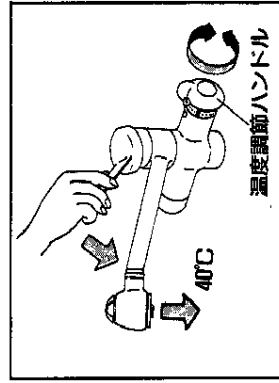
ダイヤルどおりの湯が出なくなったり、次の要領で温度調節をしてください。

●調節する前に

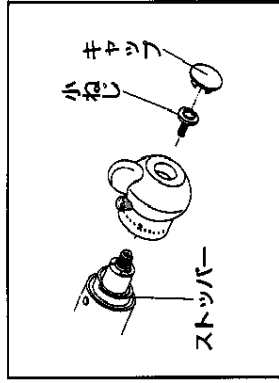
(a)ストレーナのごみづまりはないか確かめる。

(b)止水栓が全開しているか確かめる。

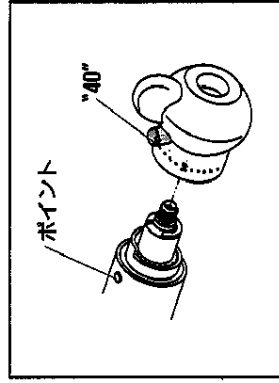
(c)十分な温度(使用する温度より10℃以上)の湯がきているか確かめる。



レバーハンドルを開き、温度調節ハンドルの目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。

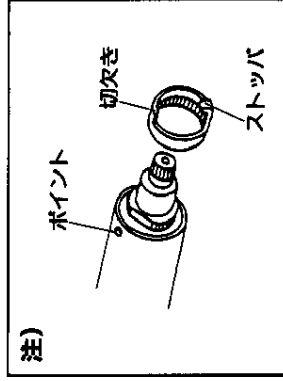


温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじをはずしてハンドルを抜きとる。



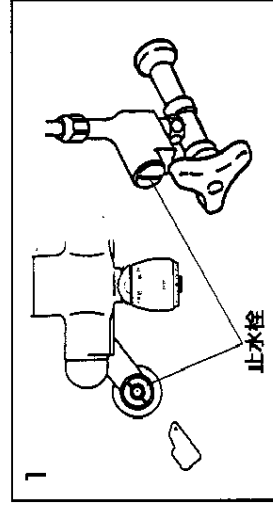
温度調節ハンドルの“40°”の目盛とポイントを合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。

温度調節ハンドルを抜きとるとき、ストッパーがはずれた場合はポイントに切欠きを合わせてください。

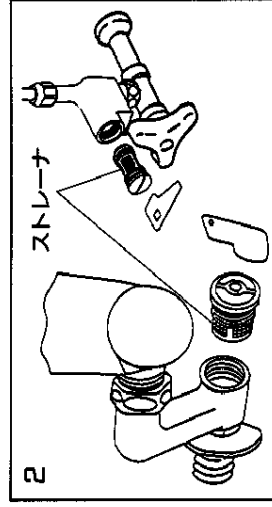


ストレーナの掃除

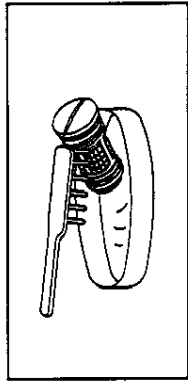
ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。



止水栓を閉じてください。



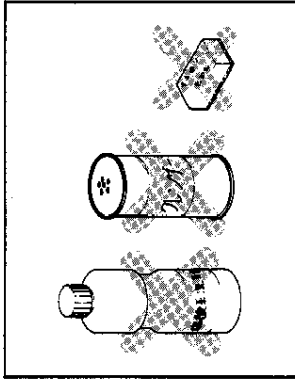
開閉工具を溝に差し込みストレーナをゆるめてください。



ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取り除いてください。

手入れのしかた

いつまでも美しさを保つためにふだんは柔らかな布でふき、めっさされたところとはときどきミシン油やカーワックスなどをしみてごまかせた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

カラ塗装品及びパールブライトめっき品は、付属の取扱説明書をご覧ください。

故障したときは

故障したときの修理は取付工事店にご依頼ください。なお不明な点がございましたらもよりの当社支社、営業所にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

現象	お調べいただくところ
■吐水量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。
■高温しが出ない ■低温しが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。 ●温度調節は適当ですか。
■ダイヤルどおりの湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。 ●温度調節は適当ですか。

*点検のしかたは「ストレーナの掃除」、「温度調節のしかた」の項を参照ください。

*TK290R、TK290RZの場合カラ塗装品及びパールブライトめっき品の止水栓の開閉をされる場合は、表面が傷つきやすいので必ず付属の開閉工具をご使用ください。

本体内部は分解しないでください

本体内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ()